

1 子ども環境情報紙「エコチル」を活用した環境情報発信等の展開

■事業の形態

協働の形態	1 共催	2 事業協力・協定	3 実行委員会・協議会	4 委託
実施団体	相手側	株式会社アドバコム		
	道側	北海道環境生活部気候変動対策課		

■事業の概要

現状・解決すべき課題	優れた北海道の環境を次世代にも引き継げるよう、将来を担う子どもたちへの環境に関する啓発活動を充実する必要がある。
事業の目的・成果目標	(株)アドバコムが道内の小学生に配付する「子ども環境教育情報紙「エコチル」」において、環境情報の発信に協働で取り組む。
実施場所	子ども環境教育情報紙「エコチル」
事業期間	平成30年(2018年)4月号～
事業の概要	「エコチル」毎号において特集記事を監修し、情報を発信。
道の関連施策	

■協働の内容

協働の理由(きっかけ)	「エコチル」(全道版)の創刊	
協働の目的・成果目標	子どもたちの環境意識の醸成	
役割分担 (費用等負担含)	一緒に取り組むこと	各号特集テーマの決定
	相手側	記事の作成、配付
	道側	記事テーマの情報提供、校正
作業日程	平成30年(2018年)2月 協定締結 平成30年(2018年)4月 「エコチル」(全道版)4月号から協働を開始	

■実施結果

事業の成果目標の達成状況	平成30年(2018年)4月の「エコチル」(全道版)創刊から、毎号特集記事を監修
協働の取組による効果	小学生への環境情報発信の充実
課題、改善提案	必要な資料等の提供を円滑に行えるようにつとめること

■協働による気づき・感想

(相手側)

(道側) 子ども向けの広報ツールとして非常に効果的である。

■事業の様子



(「エコチル」(北海道版)平成30年(2018年)6月号特集)

～民間企業とのタイアップ事業～

こども環境情報紙「エコチル」を活用した環境情報発信等の展開

背景

- 本道の良好な生活環境や、豊かな自然環境を保全していくため、道ではこれまで、大気や水質の保全、リサイクルなど資源の循環利用、野生生物など自然との共生、省エネなど地球温暖化対策等の普及啓発を実施
- 「北海道命名150年」を契機に、先人から受け継いだ財産のひとつである優れた本道の環境を次世代にも引き継げるよう、将来を担う子どもたちへの啓発活動の充実を検討

エコチル概要



○(株)アドバコム(広告業、本社札幌)が「地球環境保全に積極的に取り組む子どもたちを育てたい」との趣旨で発行する子ども環境情報紙(月刊)

- H18.4に札幌版を創刊し札幌市内の小学校等に配布、H25からは東京版も展開
- (株)アドバコムは、当該事業によりH21道グリーン・ピズ認定、H25地球温暖化防止活動環境大臣表彰、H29北国の省エネ・新エネ大賞優秀賞(北海道経済産業局)受賞
- H30.4から全道展開として「北海道版」を創刊予定



民間企業と道との連携による効率的・効果的な情報発信等の実施

- エコチル「北海道版」を活用した環境情報の発信
- (株)アドバコムや道が開催等する環境関連イベントでの連携 等

将来を担う子どもたちの環境意識の涵養により、豊かな環境の恵みを継承